

1. 代表よりプレイステーションの説明

2. 利用者より意見

（*はプレイリーダーからの回答）

【安全管理について】

- 大きな落とし穴は幼児にとって危険
- ウッドデッキから 1 歳児が転落した。転落対策をしてほしい（マット・チップを敷くなど）
 - *下にクッションが置いてあると、今度は飛び降り遊びが始まるのでは、と心配しています。それはそれで、子どもの上に子どもが落ちてくるなど、リスクが高まります。
 - *ウッドチップについて調べてみます。子どもはそれをかき集めて、別な場所に持って行ってしまわないか心配ですが。
 - *ウッドデッキに柵をつけることも考えましたが、親御さんがそれで安心できる一方、子ども自身は柵に登る、身を乗り出すなど、かえってリスクが高まる可能性も出てきます。
 - *ただ危険なことをさせたくないのであれば、危険が考えられるものはすべて取っ払ってしまえば良いのですが、でも、私たちは子どもが持つ「心から楽しいと感じる機会」や、「やってみたい気持ち」、「危険を察知する力」などを奪わないことを大切にしています。したがって同時に、子どもが心身に残る怪我などしないように、ドキドキハラハラしながらそれを見守っています。とはいえ子どもは大人の予想を超えてきます。よりよく安全管理を行うためにも、その時感じた危機感はスタッフだけでなくみんなで共有していきたいと考えています。子どもが安心して遊べる環境を作るために、利用者の皆さんが「危ないな」と思ったこと、ぜひその都度教えてください。
 - *例えば転落しそうな場所の下には、何もないようにしています。墜落時、そこに椅子があるだけで骨折してしまうので。高台には、椅子など余計なものがないように気をつけています。
- けがのとき、連絡を欲しい
 - *心配な怪我の時は、必ず保護者に連絡を取るようになっています。子どもによっては自宅の電話番号がわからない子もいますが、お友達などを辿り、なんとか連絡をとっています。

【ほしい遊具など】

- ツリーハウス・パラバルーン

【スタッフについて】

- 名前がわかると良い
 - *顔と名前のポスターを実際に貼ったことありますが見事にいたずらの的になって、まともな写真は 3 日保つこともできませんでした！

【イベントなど】

- *イベントと一緒に考えていきたいと思っています
- プレステまつり
- 保育つきの講座
 - *BOUKEN どんどこでは講座を開いています（保育つきはまだやっていません）。
- サマーキャンプ
 - *以前から意見が出ており、今後検討して行きたいと思っています。
- 染物
 - *コロナ以前、プレステでは利用者主体でプチイベントのような遊びをたくさん行ってきました。アイデアがあればぜひ、ご相談ください。大仰なことではできなくても、日常でできることがたくさんあると思うし、プレイリーダーもそれを楽しみにしています。
- 親がボーっとできるイベント。お茶を飲む 30 分くらい子どもを見てほしい
 - *小学生の対応で手いっぱいなこともあります。どんどことも連携して、育児に大変そうな親御さんのサポートを、できる限りしていきたいと思っています。その際はぜひお声がけください。

【その他】

- 駄菓子屋にも車いすがいれるようにできないか。外の屋台を活用しては
 - * スロープを作る議論はありましたが、なにぶんトレーラーハウス内がそもそも狭すぎるので、屋台を外に出す、駅弁のようにスタッフが売りに出るなどの工夫をしたいと思っています。
- 駄菓子屋でパンを販売してほしい
 - * だがプレに伝えます。
- 畑
 - * 基地エリアにて小さな畑が準備されつつあります。場内での調理が可能になったら、力を入れていきます。
- 武蔵国分寺公園へ出前してほしい
 - * ぼうけんもりをやっています。これまでも各種イベントを行ってきました。
- 遊具に関する質問に対してスタッフの回答を統一してほしい
 - * 全員がそれぞれの危機感を共有し、多様な視点を取り入れた安全管理できるよう、安全管理マニュアルを開発し、更新しています。
- あずこっこをどどこでやりたい
 - * どどこで検討していきます
- 砂ほこりが気になる。植物を植える予定はあるのか
- 外で遊ぶ子どもに名前が貼ってあると交流しやすい
 - * 入り口のところにペンとガムテープを置いていた時がありました。それぞれすぐにいたずらに使われてしまって、やめてしまいましたが。ガムテとペン、事務所にあるのでご希望の際はおたずねください。
- 不登校児の学習の場が欲しい
 - * 大学生に教えてもらう機会を作るなど可能性あります。
- どどこで使用しているカードについて、簡素化できないか
 - * 子ども家庭支援センターからの指示・方針なので難しいのです。
- バザー以外でもいつでも寄付ができるようにしてほしい
 - * 保管場所がないのでいつもというわけにはいかない。バザーは年3回を目標にしたいとは思っているが。
- 実のなる木がほしい。

【材料・工具】

- 家から工具を持ってきてもいいか
 - * 問題ない。保管場所が少なく、使えないためにお断りせざるを得ないケースもあるが。
- 壁紙を寄付したい
 - * いただきたい。連絡ください
- 木材を手に入れたい（スタッフから）